

体育かけはしプロジェクト

本事業は、小・中学校の連携した教育実践を推進することを目的に、平成18年度から始めた事業です。小・中学校の教員が共同で教材研究、授業改善に取り組み、指導内容、指導方法の相互理解を図っています。平成22・23年度は、体育をテーマとして研究に取り組みました。

体育における系統性を大切にしたい授業の研究

- ・体育教育の系統性を一層明らかにする
- ・小・中連携教育の一層の充実を図る

今年度は、「小学校5年生から中学校2年生までをひとくくりとした指導の体系化」を念頭に、陸上、水泳の領域について研究を進めました。

かけはしプロジェクトの講師として、(財)日本中学校体育連盟 菊山事務局長に、研究全般に渡って指導

をお願いしました。

かけはしプロジェクト実行委員12名は、2つの分科会でテーマを設定し、実践授業や報告会に向けて、小・中連携のための工夫等について活発な協議を進めました。



実践

実践を通して、授業を構成する上でのポイント、小・中連携のためのポイントを明確にしました。

小学校5年生 「小・中の連携を踏まえた指導の工夫～短距離走・リレーを通して～」 平成23年6月20日(月)

児童の感想

- ・スタートの時、前に体重をかけることが分かりました。友達にバトンパスが上手とほめられてうれしかったです。
- ・自分のスタートマークが見つかりリードがしやすくなりました。リードは全力で走り出すことが分かりました。
- ・バトンパスが上手いくとタイムがすごく縮まるので、バトンパスってすごいなあと思いました。
- ・チームみんなのリードが上手になって、バトンパスがスムーズになりました。タイムも縮まってくれたいです。



中学校2年生 「続けて長く泳げるための系統的な指導の工夫～水泳、クロール・平泳ぎ～」 平成23年6月28日(火)

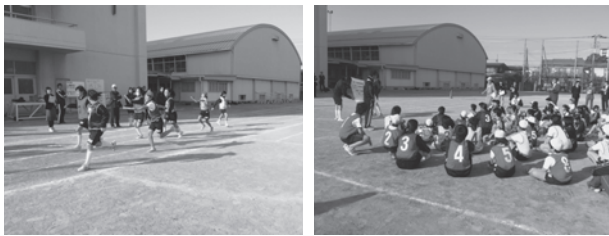
生徒の感想

- ・息継ぎがうまくできて、自分なりにいい泳ぎができました。(クロール)
- ・ひとかきで、よく進むようになった。次はもっと進めるようにしたいです。(クロール)
- ・平泳ぎのタイミングが分かってきたような気がしました。(平泳ぎ)
- ・もっとのびる時間を長くして、速く泳げるようになりたいです。(平泳ぎ)



報告会 平成23年11月24日(木)

公開授業 陸上運動・陸上競技「短距離走・リレー」 小学校5年生・中学校2年生



市内小・中学校の教員に対し、今年度のプロジェクトの報告会を開催しました。公開授業では、小学校5年生と中学校2年生の合同授業を実施しました。菊山講師からは、体育の小・中連携の在

り方についての方向性をご指導いただきました。今回の実践をそれぞれの学校の教育活動に生かし、さらに小・中連携に向けた取組を具体的に推進していきます。

- 報告会
- 研究報告
 - 指導・講評、講演「体育における系統性を大切にしたい授業の研究」
- 講師 (財)日本中学校体育連盟 事務局長 菊山 直幸 先生

平成23年度狛江市教育委員会教育研究奨励校発表 狛江市立狛江第四中学校

「言語活動を重視した授業の構成や進め方の工夫」



1月31日(火) 狛江市立狛江第四中学校にて狛江市教育委員会教育研究奨励校の研究発表会がありました。「言語活動を重視した授業の構成や進め方の工夫」の研究主題で、5校時に全学級(9学級)で授業公開が行われました。来年度から新学習指導要領が全面实施となります。そこで、狛江第四中学校では、全ての教科で言語活動を重視した授業を工夫して、論理的に考え、感じる力を育成するよう努めました。この研究の取組によって、次のような成果がみられました。

1. 考えるポイントを明確にした授業を行うことで、考えたことや感じたことを分かりやすく伝えようとする等の確に表現し、自分の考えを再認識し深めることができるようになった。
2. 各教科にわたって継続的に言語活動を行うことで、授業が楽しくなりよく分かるようになった。
3. 特別活動等の分野において生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを意図的にとらせることで仲間や教師との信頼関係が構築されていき、授業において自ら積極的に発言したり、他者の発言をしっかりと聞いたりすることができる生徒が増えた。
4. 研究発表会には、たくさんの方にご参会いただいた。発表会ではアトラクションとして2年全生徒による表現活動(劇、ダンス、合唱、スピーチ)を見ていただいた。



本校では日頃から生徒が授業や行事、部活動等に一所懸命取り組んでいます。その一部として、生徒たちの活躍をたくさんの方に観ていただけたことは、生徒の励みとなりました。

平成23・24年度「狛江の教育21」 研究奨励校 狛江市立狛江第五小学校

「言葉を大切にして 自分の考えを表現し合える児童の育成」～ICTを活用した国語科の授業を通して～



狛江市教育振興基本計画では「ICTを活用した授業改善を積極的に進め、児童・生徒の学習に対する意欲や学習の達成感等を高めていくこと」を喫緊の課題としています。

本校では、「子供たちにとってよりわかりやすい授業」を実現するために、ICT機器の活用方法から研究を始めました。そこでまず、教師が授業でICT機器を使いやすい環境づくりを行い、次にデジタル教科書・電子黒板・電子黒板ユニット・書画カメラ等のICT機器を使った授業研究に取り組み、教員が互いに情報交換を行いながら授業づくりを進めてきました。

2月17日(金)の中間発表会では、低・中・高学年で各1学級の授業を公開した後、発表会、そして「今、求められる学力とICT」をテーマに白梅学園大学教授佐藤正志先生による講演を行い、約150名の参加者と共に有意義な時間をもつことができました。

この1年間のICT機器を活用した研究を通して、子どもたちにとって学習内容が明確になり焦点化して学習に取り組むことができること、多様な考えを文章や資料を直接示しながら、多様な考えを相互交流することができること等が明らかになってきました。来年度は次の段階として、子どもたちの思考力・コミュニケーション力を更につけるために、どのようにICT機器を活用していけばよいか研究を深めていきたいと考えています。

